

1. 再開発の推進

川崎駅周辺地区では、現在、西口地区において、民間の再開発事業により土地利用が転換され、都市型住宅や文化施設等の整備が進み、東口地区では、商業施設のリニューアルが進む中で、駅周辺の拠点機能が充実しつつあります。こうした現在進んでいるまちづくりと連携しながら、魅力と活力のあるまちづくりを進め、川崎市の中心的な広域的な拠点としての機能強化を推進します。



西口堀川町地区再開発事業

(1) 西口地区の継続的な開発

西口大宮町・中幸町地区の都市機能更新や堀川町地区の土地利用転換・再開発事業とあわせ、公共基盤整備を推進し、広域的な拠点としての都市機能の向上を図ります。

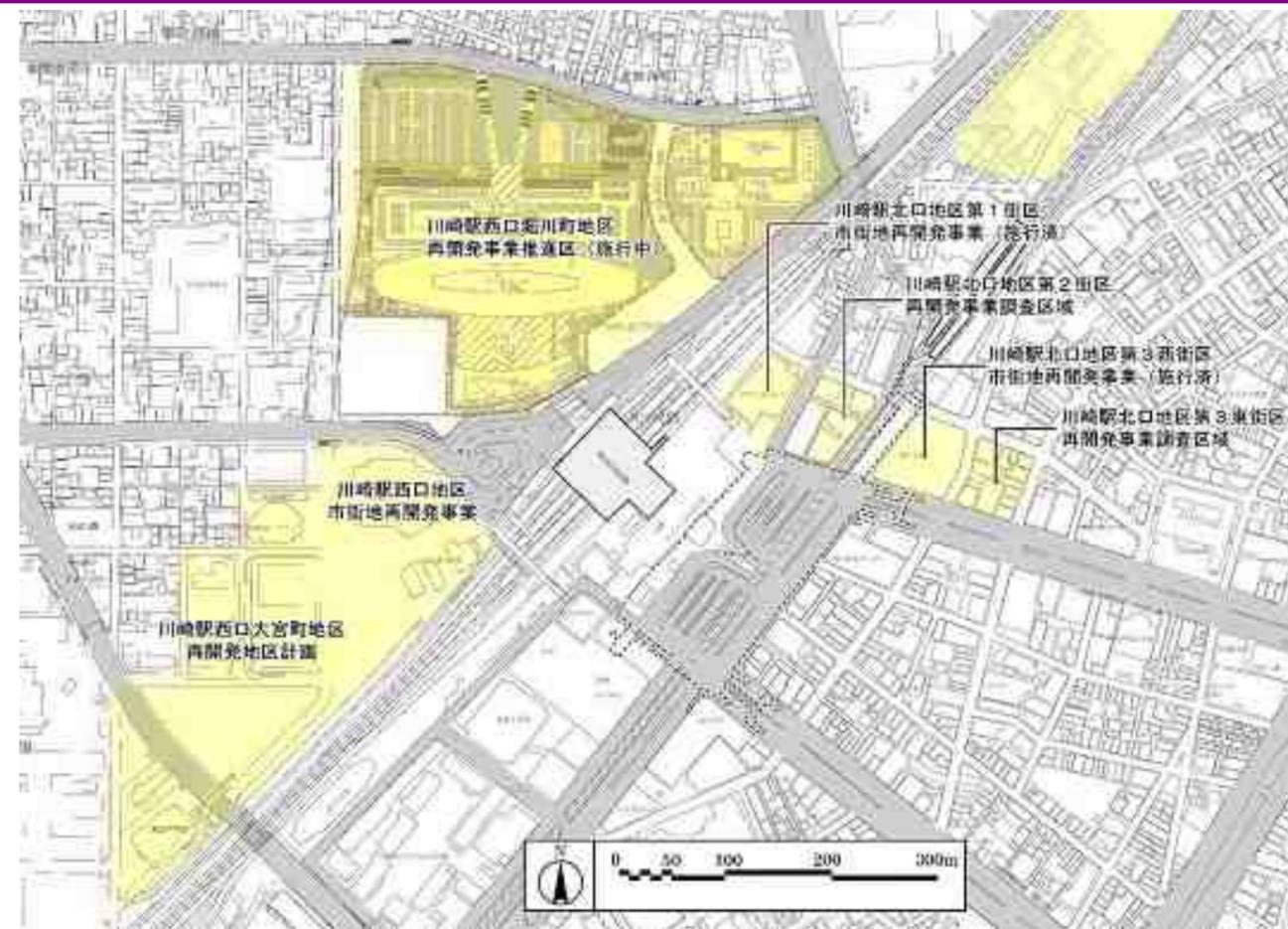
(2) 川崎駅北口地区の再開発の推進

北口地区では北口第1街区、北口第3西街区の市街地再開発事業の完成など、商業・業務機能の更新が進んでいます。

現在、北口第2街区では、施設の老朽化に伴う土地の高度利用に向けたまちづくりの検討が進められています。こうした更新需要の動向を踏まえ、再整備に向けた地域の取り組みを支援し、広域的な都市拠点としての魅力の一層の増進を図ります。



川崎駅北口第2街区



川崎駅周辺の再開発事業

(3) 京急川崎駅北側街区の適切な土地利用の誘導

駅周辺では、商業・業務機能の更新が進められている中において、京急川崎駅の北側街区では、景観資源としての多摩川を活かした土地利用の誘導が課題となっています。新たなまちづくりの契機を捉え、川崎市の中心市街地にふさわしい土地利用の誘導を推進します。

